



南部町立南部中学校 学校だより 第15号

チーム南部中

令和3年11月16日(火)

校長 望月和彦

卒業後の自分にふさわしい進路を見つけよう

11月11日(木)3年生は第2回教育課程到達度確認検査(教達検)を受検しました。教達検や領域別テストなどは、高校入試の学力検査でどのくらいの点数を取れるかの目安になります。進路選択に向けて大切な資料となるだけに、教達検前の休み時間や給食の時間には教科書や参考書を見ている3年生の姿を目にするようになりました。高校入試の可否を判定する材料には、学力検査(入試)の結果や調査書(中学校での学習の状況、様々な活動の記録、出欠席や健康状態を記録したもの)の内容があり、山梨県公立高の前期入試や静岡県公立高入試、私立高校には面接や作文、実技検査などを設けている場合もあります。高校入試が実施されるのは1月から3月にかけてですが、受験校を決めるのは書類作成や出願手続きがあるため、11月後半から12月になります。そのために本校では、3年生希望者を対象に11月半ばに三者面談を行い、さらにもう一度12月に三者面談を行います。(12月には1・2年生の三者面談もあります)より良い進路選択をするために、次のようなことをじっくり考える必要があるでしょう。



- ① 自分のやりたいことができる学校か。
- ② 自分の将来の目標を実現させるために適した学校か。
- ③ 目標ややりたいことに対する自分の意欲や適性はどうか。
- ④ 現在の自分の力でその学校に合格できるのか。入学後も授業のレベルについていけるのか。
- ⑤ 卒業するまで、学習、部活動、学校行事など楽しく充実した生活を送ることができそうか。
- ⑥ 学校への通学手段や経済的な面で問題はないか。

学校生活を支えてくれるお父さん、お母さんや家族などの考えを聞き、学級担任など教員からのアドバイスも受けながら、最終的には一人一人の生徒本人が自分に最もふさわしい進路を考え、受験校を決定します。(合格に不安がある場合は、併願も考える必要があるでしょう。)受験校が決まれば、合格できるように、進学先での学習について行けるように受験対策をがんばるだけです。あなた一人だけの試練ではなく、全国の中学3年生が同じようにがんばって努力していますし、すべての人が乗り越えなければならない壁ですから、最後まで全力を尽くしてほしいと思います。

しかし、希望校に合格すれば充実した高校生活を送ることができるとは限りません。希望の学校に入学できたのに中途退学してしまったり、目標を見失ってしまったりする人も残念ながらいます。反対に、第1希望でない学校に入学したのに、自分の個性を発揮する場を見つけて活躍し、大きく成長できた人もいます。大切なことは、進学先がどこであれ、その中で自分の目標をしっかりと定め、自分の力を伸ばせるよう努力する事です。中3の進路選択がすべてではないということは、頭に入れておいてください。3年生は今、進路選択の時期を迎えています。2年生は1年後、1年生は2年後にその時期がやって来ます。今のうちから心構えと準備をしておくことが大切です。

南部中文化 より良い合唱づくり

11月7日に新人戦県大会が終了し、規定通り翌週からはすべての部活の朝練習がなくなり、放課後も完全下校が午後5時になりました。朝の会の前や放課後の時間帯、それまで聞こえていた運動部のかけ声やボールの音が聞こえなくなり、校舎内のあちらこちらから心地よい歌声が聞こえ、南部中に「文化の

秋」がやってきました。11月23日開催予定の「音楽発表会」に向けて、学級ごと、学年ごと、合唱づくりに取り組んでいます。「合唱」は、「あいさつ」「無言清掃」「脚下照顧」「全力応援」などとともに、歴代の本校生徒たちが創り上げてきた大切な南部中文化の一つです。美しい声を出す方法を指摘し合ったり、曲想に合わせて歌い方を工夫したり、生徒たちで意見を出し合いながら練習が行われています。教師の力を借りながらも、生徒たちが自らの手でより良い合唱づくりに取り組むことを通して、学級・学年集団の力を高めたり、一人一人の豊かな感性を育てたりすることにつながっています。昨年度はコロナ対策のために、音楽発表会当日は、保護者の皆様にはお子様の学年以外の発表はランチルームの画面で視聴していただきました。今年度は、午前中に生徒たちだけで音楽発表会第1部を行い、午後の第2部は保護者の皆様にすべての学級と学年の合唱を聴いていただけるように、生徒たちが学年ごと体育館に入れ替わり発表することとしました。各家庭1名に限定させていただきますが、本校生徒たちの心のこもった合唱を是非聴きに来てください。音楽発表会終了後の学年・学級懇談会への出席も、よろしくお願いいたします。



思春期体験学習

10月29日(金)の5,6校時に3年生対象の思春期体験学習がありました。元山梨県福祉保健部保健監の新藤京子先生をお招きし「生命の授業～あなたが生まれ育ってきた道…そしてこれから」というテーマで講演をしていただきました。「“生きる”ということについて生徒が自分自身で考えることが大事で、今日の話がそのきっかけになってもらえたらうれしい。命とは何か。コロナ禍の今だから、命について考えることが更に重要になっている。」と話され、「お母さんのお腹の中にいた10ヶ月間の成長」



「生まれてから1歳になるまでのこと」「赤ちゃんの6つのお願い」など生命の誕生の不思議さと尊さについて語ってくれました。その後、会場に一組の母子(3ヶ月)をお招きし、お母さんにインタビューする形で、赤ちゃんが産まれたときの様子や感じたことなどを聞かせてもらいました。最後に、「自立＝自分で責任を持つとはどういうことか。自立の順番を間違えてはいけない。自分の行動の先にどのような未来があるのか想像する力を持ってほしい。」と「自立のコップ」について教えていただき、「自分が多くの人のお世話になって、助けられて生きていることに感謝をしてほしい」と締めくくられました。2時間近くに渡る講演でしたが、新藤先生のパワーあふれる語りには生徒達は熱心に聴き入っていました。この講演は今年度で22年目を迎えました。コロナ禍を生きる生徒達にとっても大きなメッセージになったと思います。(養護教諭 佐野 舞)

県新人戦の結果

野球	10/23(土)	田富・玉穂合同チームに4-11(5回コールド)敗退
男子バレー	10/30(土)	<パート予選>都留二2-0勝利 対若草0-2敗退
	11/7(日)	<5~8位トーナメント>対敷島2-0勝利 対甲西2-1勝利 第5位
女子バレー	10/30(土)	<パート予選>対甲府北2-0勝利 対押原0-2
女子ソフトテニス	11/3(水)	<個人戦> 芦澤・草場組2回戦進出 佐野・朝夷組初戦敗退
	11/6(土)	<団体戦> 対甲府西2-1勝利 対湖南1-2敗退
男子ソフトテニス	11/3(水)	<個人戦> 田中・遠藤組初戦敗退